

業務自動化RPAセミナー【実践編】

RPA活用による日立グループの働き方改革

実体験から学ぶRPAとの上手な付き合い方

株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト
営業統括本部 トータルサポート本部 拡販推進室

Contents

1. 当社の働き方改革とRPA活用事例
2. RPA全社展開時のポイント

1. 当社の働き方改革とRPA活用事例

当社働き方改革のスケジュール

時期	内容
2016年 10月	<ul style="list-style-type: none">・働き方改革推進本部設立・社長メッセージで働き方改革に取り組むことを宣言
	<ul style="list-style-type: none">・残業規制強化、働き方改革WGを組織し意見収集・10月～11月を「カエロー運動強化月間」とし、定時退勤日(水曜日)に労使で巡視・朝型勤務トライアル開始（朝食補助実施）・遠隔会議システム使った会議の推進
11月	<ul style="list-style-type: none">・イクボス企業同盟に加入
12月	<ul style="list-style-type: none">・サテライトオフィス勤務トライアル開始・業績会議等の全社会議の回数削減
2017年 1月	<ul style="list-style-type: none">・在宅勤務トライアル開始・スタッフ部門の定型業務にR P A（Robotic Process Automation）本稼働開始
	2月
4月	<ul style="list-style-type: none">・残業規制の再強化・会議室の有料化（会議縮減の為）
5月	<ul style="list-style-type: none">・会議の上限を原則45分間、また17時以降の会議を実施しないことを推奨・休日及び平日20時以降のメールの閲覧・送信をしないことを推奨
6月	<ul style="list-style-type: none">・働き方改革に関する各部署施策の検討・実施を開始・社員一人ひとりに、残業・年休等の勤務状況と今年度予測値を配信

従業員が安心して健康に働ける 職場環境づくりに積極的に取り組む



- 1 労働時間縮減と生産性向上
 - ・ 残業時間の制限強化
 - ・ 勤務状況の見える化
- 2 意識改革、施策推進
 - ・ リーダー層の意識改革（イクボス企業同盟の研修）
 - ・ 現場主導の独自目標設定
 - ・ 社内啓発に向けた取り組み参加
- 3 柔軟な働き方
 - ・ タイム＆ロケーションフリーワーク制度導入（在宅・サテライトオフィスでのテレワーク）
- 4 ムダ取り、効率化
 - ・ 会議（全社会議削減・有償化・制限時間）
 - ・ メール（フォーム統一、20時以降の非閲覧推奨）
 - ・ **RPAによる業務効率化**



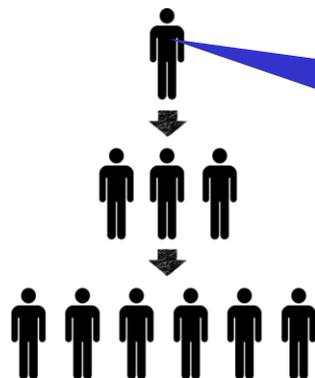
POSITIVE OFF

業務部門

各システムへの入力作業に工数が掛かり事務員を増強して対応

情報システム部

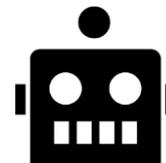
日立標準システムへの移行後が進み
自社に合ったきめ細やかなエンハンスが困難



原価低減に
RPAの導入は？

事務員を増強して対応

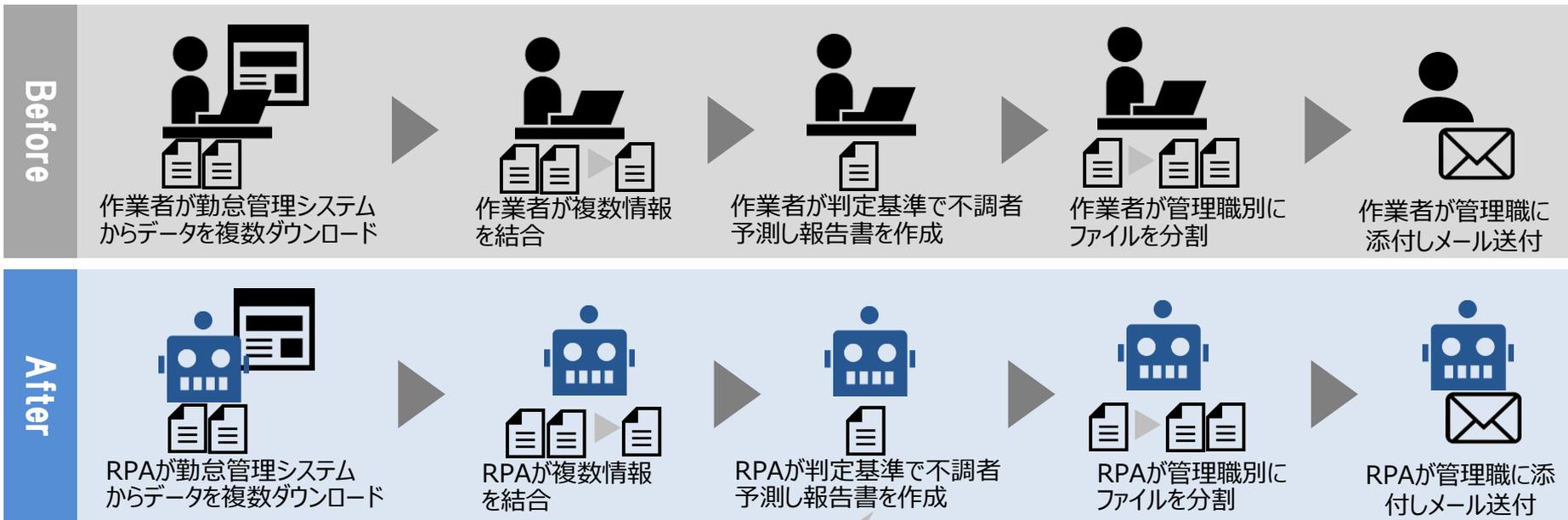
定型的
な事務作業



愚直・ミスなく・残業もOK

#	メリット	想定効果
1	既存システム/フローをそのまま自動化	既存システムへの変更が不要
2	ロボットが作業手順を「すばやく」「正確に」処理	作業効率/正確性の向上
3	ロボットが24時間、365日稼働	作業コストの削減
4	担当者(人)の定型作業からの開放	属人的な作業の排除、人財/能力の有効活用

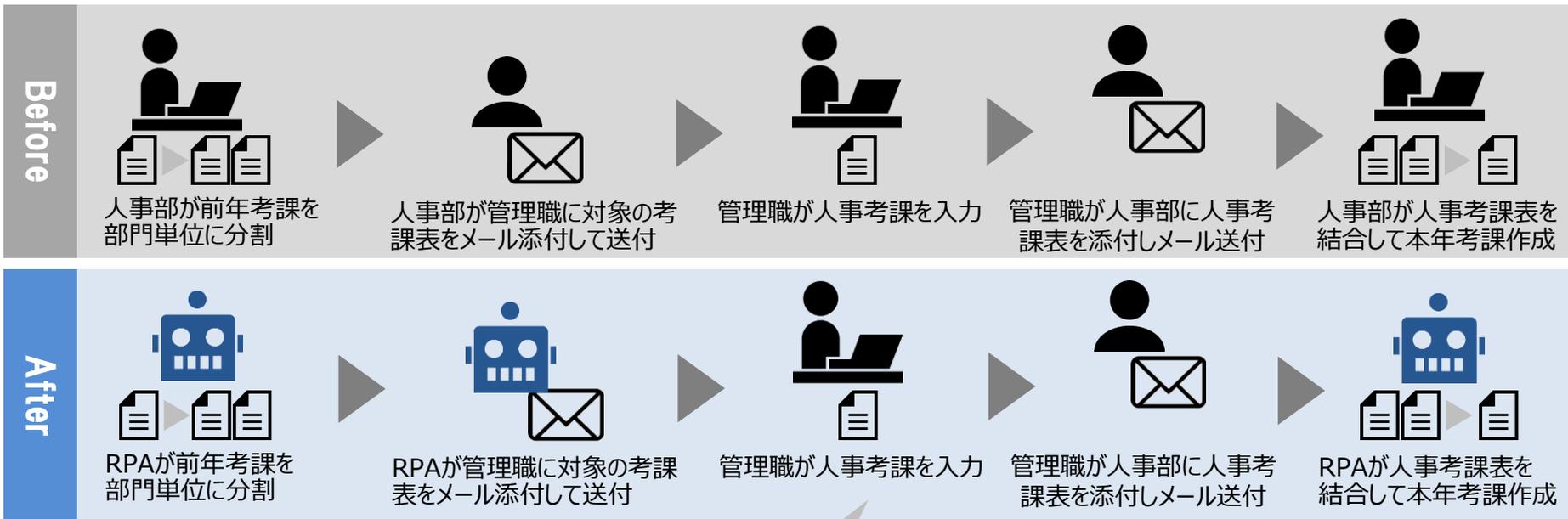
人事部門の不調者予測業務



不調者判定の
基準のみ人手作業

創造的業務へシフト

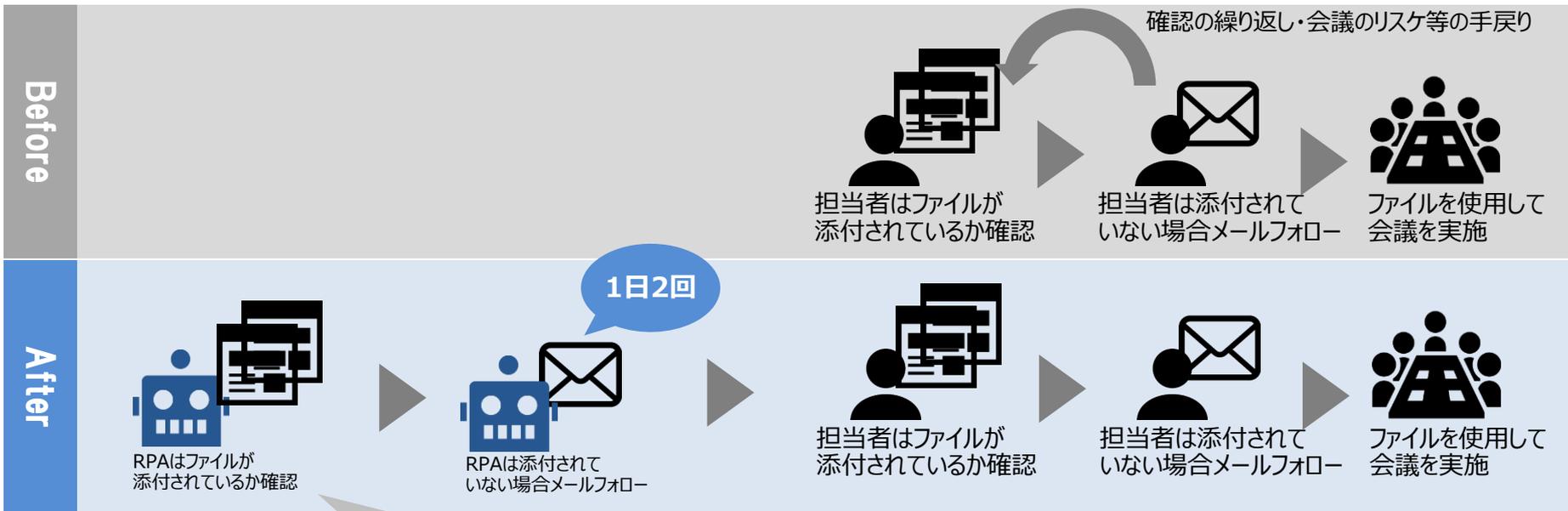
人事部門の人事考課業務



機密情報
なので慎重な扱い

正確かつスピーディー

調達部門の検収業務



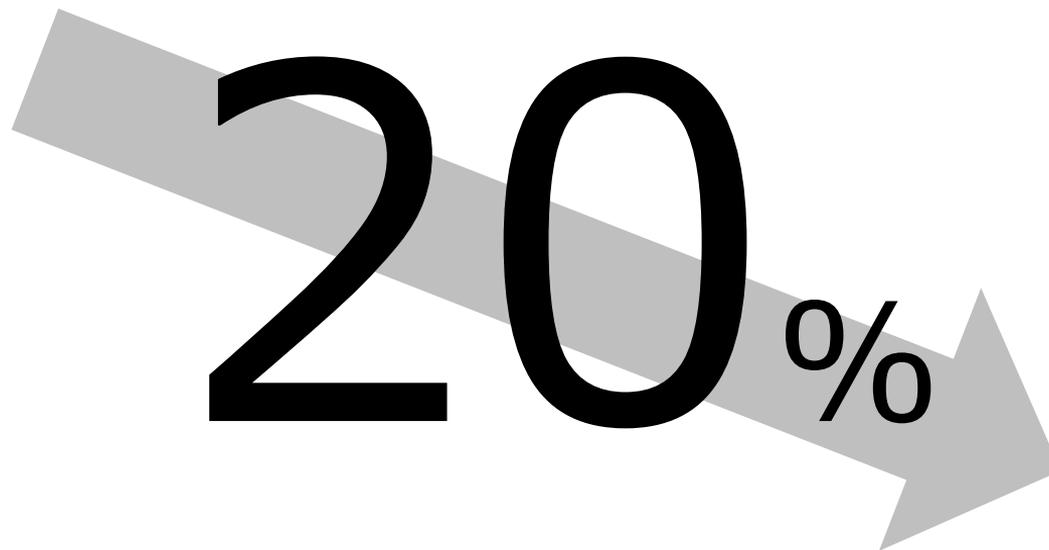
画面を1つずつ起動して確認が必要
約600件/月で人では不可

手戻りが削減し業務 効率が向上

#	RPA活用業務	業務部門	活用頻度	省力効果
1	間接費管理システムから他システムへデータを連携登録	経理	1回/日	60Hr/月
2	旅費精算システムから部門別旅費一覧を出力しフォルダへ格納	業革セ	1回/日	10Hr/月
3	見積依頼システムから当社見積システムへ見積データを連携登録	業務	常時	150Hr/月
4	発注システムからステータスを抽出して進捗に応じたメールフォロー	購買	1回/日 3回/日	60Hr/月
5	旅費精算システムの承認をしていない場合に管理職へメールフォロー	購買	1回/週	40Hr/月
6	月末納期の受注一覧から担当営業へメールフォロー	業務	2回/月	230Hr/月
7	部門システムから他システムへデータ連携登録承認ステータスへ更新	技術	1回/日	230Hr/月
8	受注の継続・解約を確認するため営業担当者へメールフォロー	営業	1回/月	30Hr/月

省力効果

約 **810** 時間/月

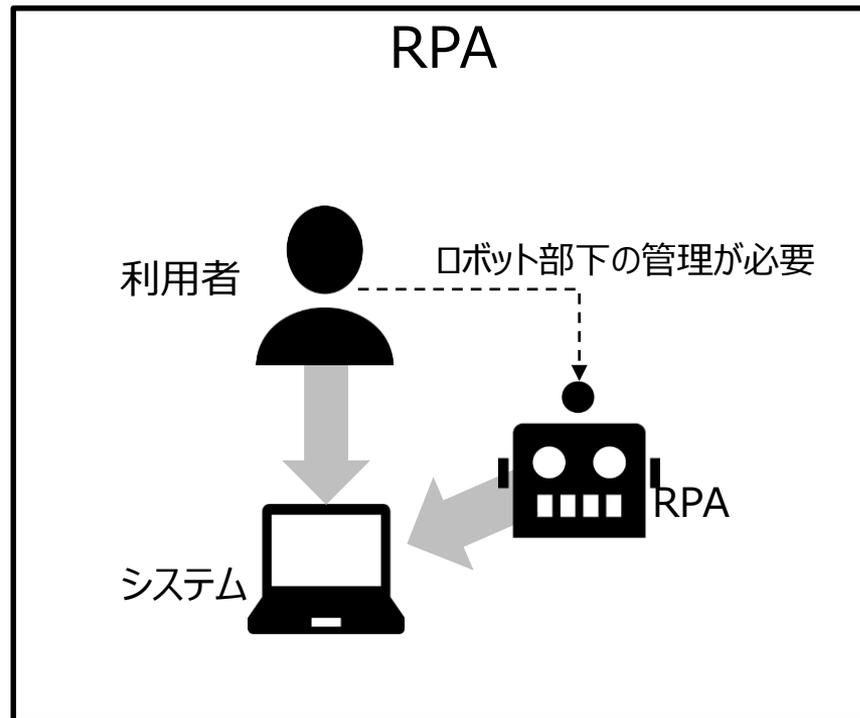
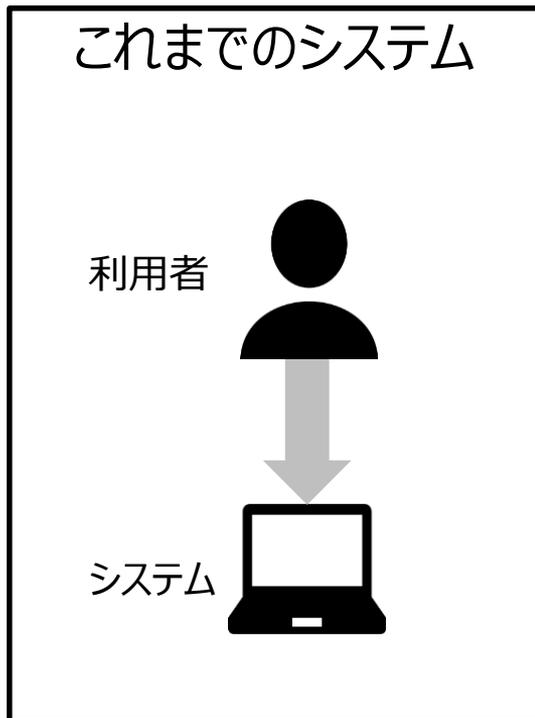


2015

2017

2. RPA 全社展開時のポイント

デジタルレイバー（仮想知的労働者）



1 全社展開の知識がなく作業負荷が増加

2 内部統制の対応で手戻りが発生



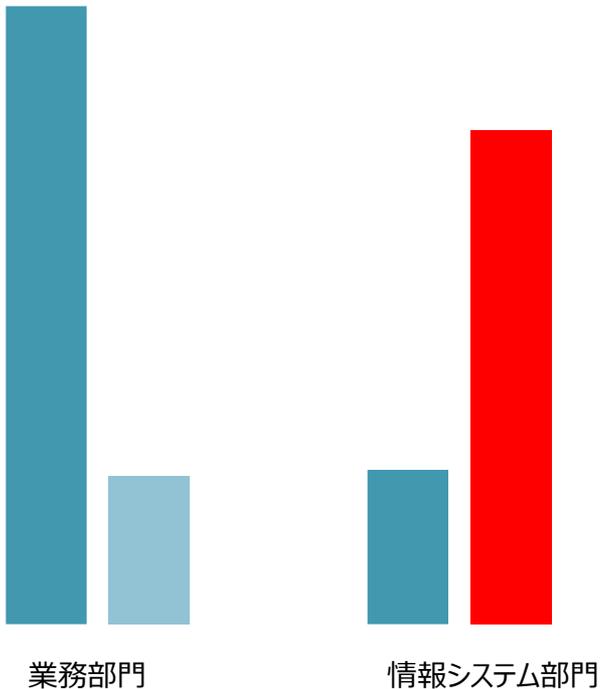
情報システム部の作業が超過しプロジェクトが停滞



情報システム部“も”幸せになれるRPA導入

1 全社展開の知識がなく作業負荷が増大

2 内部統制の壁で手戻りが発生



RPAは「簡単」というキーワードが先行

全社に展開しても作業負荷はないという誤解

情報システム部門作業が 増大 

- ・ 対象業務の選定
- ・ RPA製品の選定
- ・ サンプル評価ロボットの作成

概念実証
(PoC)

パイロット

- ・ 特定部門での導入
- ・ 体制の検討・構築
- ・ 各ガイドラインの策定
- ・ 規約の変更（必要時）

- ・ 説明会の開催(デモを含む)
- ・ ロボット化の候補抽出と優先順位設定
- ・ 開発と運用、効果測定

本格導入

情報システム部門主導

業務部門主導

- ・ 製品トレーニング
- ・ サポート体制の検討・構築（FAQ、ナレッジ含む）
- ・ 開発環境の準備・管理
- ・ 本番環境の準備・管理

- デジタルレイバー導入時の発生作業を**適切に認識**
- 教育などでトップにも**正しい理解**を促進
- **負荷を軽減**するポータルツール等の導入検討



1 全社展開の知識がなく作業負荷が増大

2 内部統制の壁で手戻りが発生

簡単にエンドユーザ部門でロボット開発が可能



導入範囲が急激に広がりロボットの数が増加



管理者が管理不能



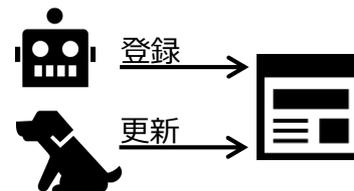
野良ロボット



システムの性能低下



不正情報の更新



情報の漏えい



RPAの導入初期から**内部統制整備**を適切に考慮することが重要

簡単にエンドユーザ部門でロボット開発が可能

過去のEUC課題より複雑

1990年代：Excelレガシー問題

2000年代：内部統制（J-SOX）におけるスプレッドシート統制の困難

システム導入という正しい認識

全社統制

- RPAによって変更される組織分掌、コミュニケーション、トレーニング、モニタリングなど幅広く影響
- 機能とそのリスク・統制も含めた正しい理解にむけ経営者から管理者へ教育すること含めて検討

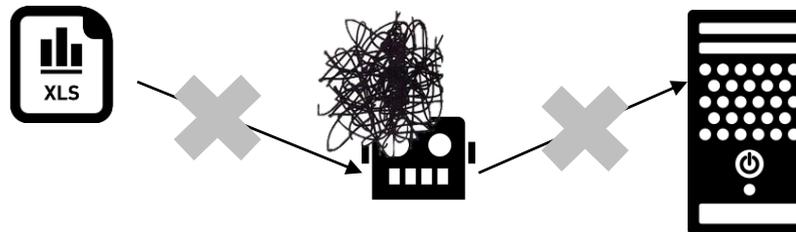
業務処理統制

- リスクシート、業務フロー、業務記述書の変更、さらにはキーコントロールの見直しにつながる可能性があることに留意

IT統制

- RPAと既存の情報システムへのアクセスコントロール（デジタルレイバーに付与するユーザーIDの運用・管理）
- 計画・開発・保守及び変更管理・**障害対応のルール整備**、セキュリティ及び権限の取扱い、既存情報システムの運用ルールとの調整

リスク要因	統制の観点
<p>RPAが操作するシステムの仕様変更の情報の連携ミス ↓ RPAが異常終了した結果で業務停止</p>	<ul style="list-style-type: none">■ 影響分析の手続き整備■ 処理記録の確保とエラー検知・対応の手順の確立 <p>■ 保守性の高い開発</p>



RPAの得意分野を見極めたツールとの組合せにより保守性の高い導入を推進

EAIツールの得意分野

- RPAは画面操作の置き換えなので大量のデータ処理に時間が掛かる
- 複数のデータマッチングやファイル分割処理にExcelマクロが必要になるケースも有
- 入出力ファイルのフォーマット変更やコード変更でもRPAを変更する必要がある



API経由で大量データの
高速処理が可能



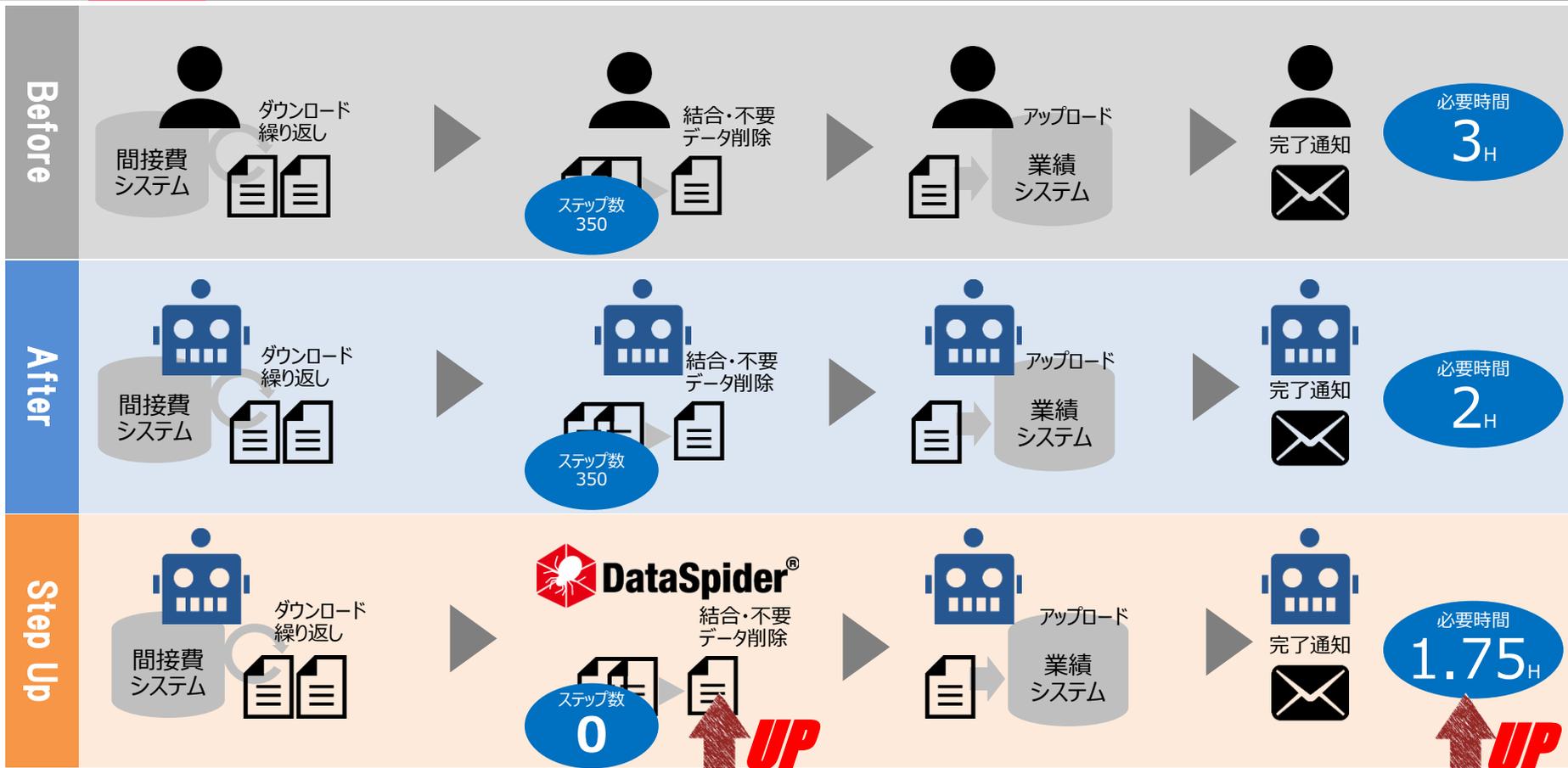
データの加工・変換・
マージ機能が標準利用可能



変更対応は定義変更するだけ



当社におけるRPA×EAI活用による保守性向上事例



- 適切なタイミングでの内部統制の検討
- 高い保守性のための適材適所のツール活用
- 保守性の高いRPA製品の選定





情報システム部“も”幸せになれるRPA導入

総務・人事・経理 ワールド 2018 内

第
6
回

HR EXPO

人事労務・教育・採用

2018年 7月 11日 水 - 13日 金

小間番号 西7-12 に展示予定

END

RPA活用による日立グループの働き方改革 実体験から学ぶRPAとの上手な付き合い方

株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト
営業統括本部 トータルサポート本部 拡販推進室
中島 佐奈江 (sanae.nakajima.yd@hitachi-solutions.com)

- Automation Anywhereは、Automation Anywhere, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- DataSpiderおよびDataSpider Servistaは、株式会社アプレッソの商標です。
- その他、記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

HITACHI
Inspire the Next 